

即興
喜劇

天使たちが街をゆく

辻邦生

即興喜劇

天使たちが街をゆく 辻 邦生



中央公論社

即興
喜劇

天使たちが街をゆく

定価九八〇円

昭和六十年五月十五月初版発行
昭和六十年六月一日再版発行

著者 辻 邦生

発行者 嶋 中 鵬二

印刷所 精 興 社

発行所 中央公論社

〒104 東京都中央区京橋二ノハノ七

振替東京二一三四

©一九八五 検印廃止

ISBN4-12-001385-5

喜劇
即興

天使たちが街をゆく

装画 日向野桂子
装帧 中島かほる

舞台（劇場の舞台）の上に即興喜劇が行なわれるもう一つの舞台が作られている。田舎芝居とか即興芝居とかの感じである。この舞台は或る王国の王宮だが、その雰囲気を感じられれば十分で、むしろ簡素で、単純であるほうがよく、幕で囲^{カーテン}ってある程度でもよい。肝心な点は、劇場の舞台のなかにもう一つ舞台の枠があるということを観客にはっきり感じさせることである。

登場人物（各人が二重の役を演じる）

演出家として王子コンラッド

ステラ役の女優そして隣の王国の王女ステラ

エド役の男優そして侍従長エド

フーラー役の謙そして科学者フーラー

警察長官役の男優そして警察長官

副官役の中村そして副官

ロロ役の女優そして乳母ロロ

衛兵役の男優一、二、三そして衛兵一、二、三

精神科医役の男優一、二、三そして精神科医一、二、三

街の代表役の男優一、二、三そして街の代表一、二、三

老いた廷臣役の男優そして老いた廷臣

若い廷臣役の男優そして若い廷臣

子供の音楽隊役の子供そして子供の音楽隊

ノラ役の女優そしてノラ（ロボット）第三幕の途中（九

十九頁）からステラと一人二役。

序幕の序幕

幕があくと、演出家や俳優たちが集ってくる。

演出家

みんな集ったかい。謙ちゃんも来ているかい？

謙

ほーい。

演出家

謙ちゃんがきていれば全員がきているわけだ。(皆、笑う)

中村

(劇場の平土間のうしろから) まだいまーす。(観客のあいだを駆けて舞台に上る) 済みません。遅くなっちゃって。車の渋滞、今日はひどいですよ。

演出家

中村君か。よし、これで全部揃ったね。一応点呼をしておくか。王子コンラッド、これはぼくだから「はい」。隣の王国の王女ステラ、(順々に「はい」と答えてゆく) 侍

従長のエド、科学者のフーフー先生、警察長官、副官、乳母のロロ、衛兵一、二、三、精神科医一、二、三、街の代表一、二、三、最後にロボットのノラ。子供たちも集っているね。(子供たちはまだふざけたり、かくれんぼをしたりしているが、このとき「はい」と返事をして集る) 点呼をとるよ。番号。(子供たち、一、二、三と番号で答える) よーし、それでは、今日は衣裳をつけて、本番と同じでゆこう。リハーサルだと思わないで、気合いを入れてね。いいかい、大事な点は、いつも言うように、軽いテンポ。即興劇の楽しさは、俳優がその場でびったりしたせりふを作ってゆくことだからね。とにかく芝居をやるってことが楽しくって仕方がない——そんな気分が、動きやせりふのなかに出せれば、それでまずぼくらの即興劇は成功だからね。それではゆくぜ。ライトのほう、いいかい？(「オーケー」の声) じゃ、コンラッドとステラのパントマイムからゆくよ。音楽、いいかい(「オーケー」の声)。よし、それじゃ、みんな用意して。(俳優たち、別れ、衣裳をつけたり、帽子をかぶったりする) スタート。

序 幕（默劇 野外 夜）

賑やかな音楽が遠くに聞える。男と女、くっきりした影絵シルエツトで上手と下手から駆け寄って抱擁。音楽遠ざかり、やがて鶏鳴。驚いたように二人、離れ、名残り惜しげに別れてゆく。

第一幕

王宮の一室。大きな衣裳簞笥がある。遠くで賑やかな音楽が聞え、やがて子供の音楽隊が陽気な音楽を奏でながら通りすぎる。部屋で侍従長エドと科学者フーフーが驚いたように音楽隊が通りすぎるのを眺めている。

フーフー

あれですか。

エド

あれです。あれがコンラッドさまがお作りになった子供の音楽隊です。あの音楽隊だけは王宮のなかを天下御免で歩きまわることができます。それでああして日がな一日王宮のなかを行進しているんです。

フーフー

たしかに陽気で賑やかなことは賑やかですがね、うるさいときだってあるでしょう。

コンラッド王子の音楽隊なら無下にあっちに行けと言えないでしょうからね。

エド それは割合簡単に解決できるんです。

フーフー というと？

エド うるさいときはテレビをつけてやるんです。

フーフー テレビを？

エド ええ、そうすると、どんなに演奏に夢中になっても、楽器など放り出してテレビを見に行ってしまう。

フーフー テレビはふだんは見られないんですか。

エド コンラッドさまがお好きではないので、王宮のなかには二つしかテレビがないのです。

フーフー それにしても子供の音楽隊とは変っていますね。

エド いや、まだほかにいろいろありますよ、たとえば老人の卵運び競走とか——これは盆の上にできるだけ沢山卵をのせて持ってくる競走ですが——、女のひとたちのちんちんかもちんちんか……。

フーフー みんなコンラッド王子がやらせるんですか。

エド

そうですよ。さっき話したようにコンラッドさまは舞姫だったお母さまの血をひいていて、屈託のないこと、陽気なことが大好きな方でしてね。先日も私が机の前でぼんやりしていると、へおやおや、また鬱ふさぎの虫が取りついていてるようだね。さあ、笑って、笑って」と言うんです。へ王宮かなめの要の侍従長がそんな陰気な顔をしていたら、王宮中がいっそう陰気になってしまう。たとえ悲しいことがあったって、人間てのは、笑顔で陽気に振舞っていれば、必ずいい運が向いてくる。貧乏神というやつは、いつも悲しい顔、鬱ふさいでいる顔に棲みつくものだから、にこにこしている人を見ると、おや、これは間違った、と思って、行ってしまうんだよ。ぼくが王宮に子供の音楽隊を作ったり、運動会をやったり、舞踏会を開いたりするのは、王宮のなかを明るく陽気にするためだよ。王宮が明るく陽気になれば、政治家も役人も明るく陽気になる。政治家や役人が明るく陽気になれば、王国の住民も明るく陽気になる。住民たちが明るく陽気になれば、不幸だって貧乏だって、我先にと逃げていってしまうんだよ」と、まあこんなふうに言われたわけでした。

フーフー

エド

つまり余程お目出たい方、と言うわけですか。
滅多なことでは言って貰いたくありませんがね、とにかく変わった方ですな。

フーフー
それですこしは王宮のなかは変ったんですか。

エド
変りましたがね、しかし悪く変ったんです。

フーフー
子供の音楽隊のせいで？

エド
いや、いや、あれは関係ありません。実はそのことでご相談があるので、わざわざ

王宮までご足労いただいたわけでして……。 (エドは戸口をのぞき、あたりを警戒して、一段と声を落し) あなたはコンラッドさまが庶出の王子であることはご存じですね？
その、陽気な舞姫のお子とか仰おつやいましたね。

エド
そうなんです。王妃さまが亡くなられたときのことでしたが、王様はすっかり陰気

に鬱ふさぎこんでおられたので、何とか踊りでもお見せしてお慰めしたらというので、舞姫が招かれました。美しい、気立ての優しい、明るい女性でしたので、王様はすっかり気に入られて、それから日夜一緒に暮らすようになったのです。こうして生れたのがコンラッドさまでした。亡くなられた王妃にお子さまがなかったのです、コンラッドさまは世継ぎの王子になられたわけでしたが、舞姫のほうは、そうなる
と、かえって王宮の生活が責任のある、堅苦しいものに感じられ、ある日、王妃に
したいという王様の希望をお断りになって、遠い国に旅立ってしまわれました。修

道院に入られたとも、どこか大都会の雑踏のなかに隠れておられるとも言われていますが、二度とコンラッドさまのお母上の消息は聞くことができませんでした。ところが、そうになると、亡くなられた王妃の一族が何とも憤懣やる方ない気持ちになって、とくに王妃の弟の警察長官が、ことごとくコンラッドさまのお母上のことを持ち出して、王位継承者にはふさわしくないと申し立てるのです。それも、王様のご存命のあいだはまだ陰で触れまわっている程度でしたが、王様が亡くなられてからは、事あるたびに、齒に衣着せず、あけすけに、コンラッドさまが王位にふさわしくないと言っているのです。王様の喪の期限もあと一ヵ月。この一ヵ月がすぎれば王位に就くことができますが、私にはいろいろ悪い噂が聞えてきて、どうやってこの一ヵ月を無事に乗り切れるか、心配で心配で、夜もろくろく眠れないというわけなのです。

フーフー

悪い噂とは、王宮のなかに陰謀でも……？

エド

ええ、それも一つや二つではないんです。

フーフー

いっそコンラッド王子をどこか王宮の外へ旅行でもさせたら？

エド

それも考えたのです。しかしコンラッドさまにとって一番困ったことは、警察長官

が、コンラッドさまの頭がおかしいという噂を流していることです。

フーフー

しかし現実にはコンラッド王子は別に頭がおかしいわけではないでしょう？

エド

それはありません。

フーフー

それなら事実で証明すればいいじゃないですか。

エド

それはできますが、困るのは、例の子供の音楽隊や老人の卵運び競走や女たちのちんちんかかも……。

フーフー

なるほど……。

エド

こんなものに夢中になってご自分も一緒になって笑い崩れているところを見ると、警察長官の言葉もひょっとしたら本当かな、と思える瞬間があるんですよ。

フーフー

困りますね、あなたがそんなことを仰っては。

エド

ほんとうにコンラッドさまときては、気が違ったようにお笑いになりますのでね。陽気なこと、楽しいことに悪いことはないと思う、夜中に街を学友たちと浮かれ歩いたり、夜明けまで若い女の子たちを集めて広場でダンスをしたり……そんなことが続くのですから、王国の住民たちも、そうしたコンラッドさまを見ると、ひょっとしたら頭がおかしいのではないか、と思いはじめているわけなのです。